

事業番号	36
------	----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	静岡県市町対抗駅伝競走大会				担当課	スポーツ振興課	
事業期間	開始年度	H 1 2	～	終了予定年度	担当係	スポーツ振興係	
総合計画	めざすまちの姿	1 人が育つまち					
	目標	⑥ 学習・スポーツ活動の環境を充実する（生涯学習・スポーツ振興）					
	成果指標	強化練習回数			中間目標 (H27)	開催回数／開催 予定回数=100%	最終目標 (H32)
予算区分	一般会計	10 款 教育費		7 項 保健体育費	2 目 スポーツ振興費		
	細事業	309 スポーツ大会費（静岡県市町対抗駅伝競走大会）					
位置づけ	関連計画						
	根拠法令	スポーツ基本法第22条第1項					
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象（誰のため）	<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的 （何のため）	県内全市町が参加する駅伝大会に出場し、選手及び関係者の交流を図るとともに、競技力の向上と本市のPRに努める。						
内容（概要）	湖西市内の小・中学校から候補選手及び実行委員を推薦してもらい、代表選手は選考会を経て選出、高校生・一般は各種大会や記録会のタイムを参考にして選手を選出する。 合併までの新居町チームは、優勝1回、第2位2回、第3位3回の入賞を果たした。 平成23年12月に行われた第12回大会より市の部での湖西市1チームの参加となり、2時間19秒31秒で8位入賞を果たしたが、この成績及び記録がこれまでのベストである。						
これまでの改善・ 見直しの状況	これまでコーチは、湖西市内の各学校の先生を中心に構成していたが、第11回大会より企業で活躍しているアスリートがコーチとなり、選手と併走しながら練習をすることにより、競技力向上につながった。 第12回大会よりユニホームを新調した。						

2. コスト

（単位：千円）

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	1,802	1,689	1,749	(内訳)
	決算	1,606	1,465		物件費(普通旅費) 445
財源内訳	国庫支出金				物件費(普通旅費)消耗品費、食糧費、保険料等) 782
	県支出金				物件費(借上料) 238
	地方債				1,465
	その他				
	一般財源				
職員人件費		2,202	2,273	3,134	人工 0.4 人

3. 事業の評価

事業の実施状況

活動指標	内容		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
	候補選手数	人	目標	60	60	60	97%
			実績	60	58		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
実績・改善	平成23年度 活動内容	平成 2 3 年 1 2 月に行われた第 1 2 回大会では、男子 2 名のスーパー高校生によって、初の入賞（8 位）を果たし、過去最高タイム（2 時間 1 9 分 3 1 秒）を記録した。					
	課題・問題点 となった事項	中学校に陸上部がない学校があり、候補選手の選出が均一化されていない。					
	どう対処したか	候補選手が上がって来なかった学校については、再度募集のお願いをした。					
	改善点	各学校から候補選手を選出してもらうことについては、誰でも気軽に参加できることから、広く参加を求めている。					効果額 H24-H23 （千円）

自己評価	事業目的の 達成状況	念願であった市の部で初の入賞、区間賞者を出し、湖西市新記録は 4 名達成し、実りある大会であった。				
	※必要性 事業を廃止・休 止したときの影響	静岡県下の小学生から 4 0 歳以上までの世代を超えた選手たちが参加する大会が廃止されれば、スポーツ振興や選手の発掘、育成が図れず、テレビ放映もなくなるため、競技力や市民の関心度が低下する。				
	判定	A 継続	現行の内容で実施		事業主体	市
	判定理由	一部の小学生ではあるが、7 月の練習会から合同練習をしてきた児童が、選手に選出されなくても大会直前まで練習会に参加し、大会当日応援に駆け付け、次年度につながる意気込みが感じられた。				
	今後の方向性	小・中学生の人材育成のための協力を仰ぎながら、優秀な競技者の発掘と育成を図る。 陸上競技に精通しているコーチングスタッフを確保し、競技力向上につなげる。 第 1 3 回大会より大会運営を市大会実行委員会に委託した。				